

- Inspection 2017 取扱説明書 -

for Android




目次

1. 準備	3
Bluetooth を ON にします。.....	3
2. アプリの準備	4
「Play ストア」でアプリを検索します。.....	4
インストールします。.....	4
3. スキャンツールの準備	5
Bluetooth アダプタをスキャンツールに接続.....	5
スキャンツールを車両に接続.....	5
4. アプリの基本設定	6
アプリの起動.....	6
アプリの設定.....	6
テスター検索/設定.....	7
メール送信先設定.....	7
ストレージ設定.....	8
事業所情報設定.....	9
5. アプリの操作	10
診断.....	10
診断結果画面説明.....	12
診断データをメールで送信.....	13
6. 診断履歴	14
診断履歴の検索.....	14
診断履歴の消去.....	15
7. 終了手順	16
アプリの終了.....	16
スキャンツールを取外します.....	16

1. 準備

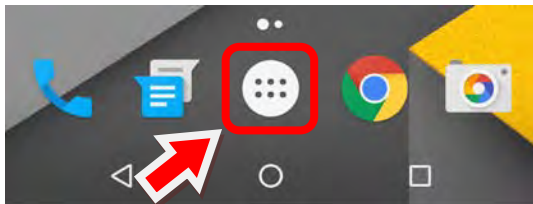
「Inspection_2017」アプリはAndroid OS 6 以上を推奨しております。
はじめにご使用のAndroid 端末のバージョンをご確認ください。

Android OS のバージョン確認方法

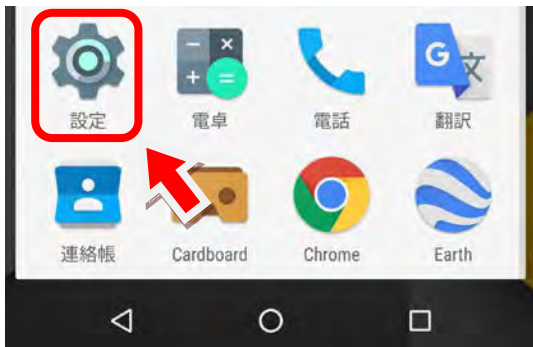
- 1.ホーム画面で「メニューアイコン」() をタップします。
- 2.「設定」() をタップします。
- 3.最下部までスクロールしてシステムの「端末情報」( 端末情報 Android 7.1.1) の欄で確認できます。

1 Bluetooth を ON にします。

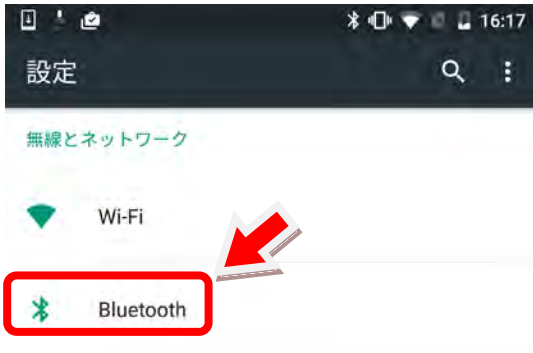
- 1.ホーム画面で「メニューアイコン」をタップします。



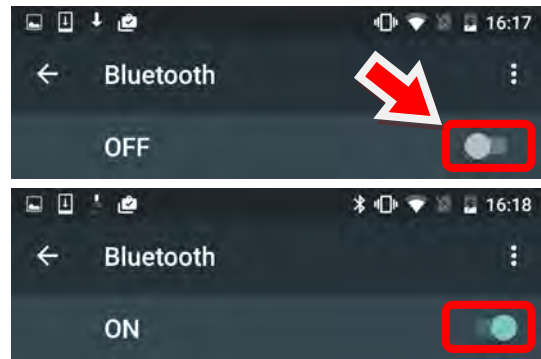
- 2.「設定」をタップします。



- 3.設定画面から「Bluetooth」をタップします。



- 4.「OFF」の場合はタップして「ON」にしてください。

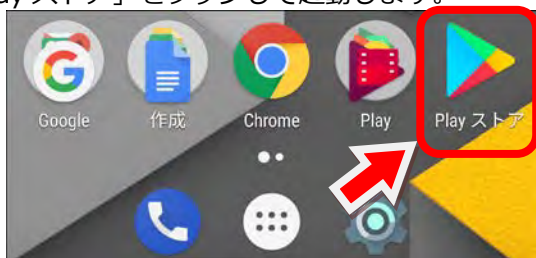


2. アプリの準備

1 「Playストア」でアプリを検索します。

1.

「Playストア」をタップして起動します。



2.

検索欄に「toolplanet」と入力して検索します。



または、QRコード読取アプリを使用して以下のQRコードを読取ってください。



3.

検索されたアプリ一覧から「Inspection_2017」を確認します。



2 インストールします。

1.

「Inspection_2017」をタップします。



2.

「インストール」をタップします。



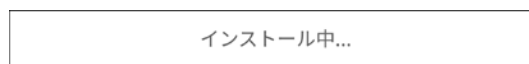
3.

インストール時にアクセス許可を求められる場合は「同意する」をタップしてください。



4.

インストールが始まります。



5.

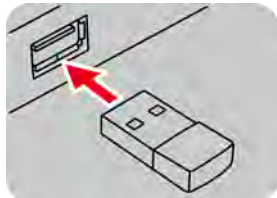
インストールが完了しました。



3. スキャンツールの準備

1 Bluetooth アダプタをスキャンツールに接続

1. 「Bluetooth」アダプタをスキャンツールの USB ポートに差込みます。

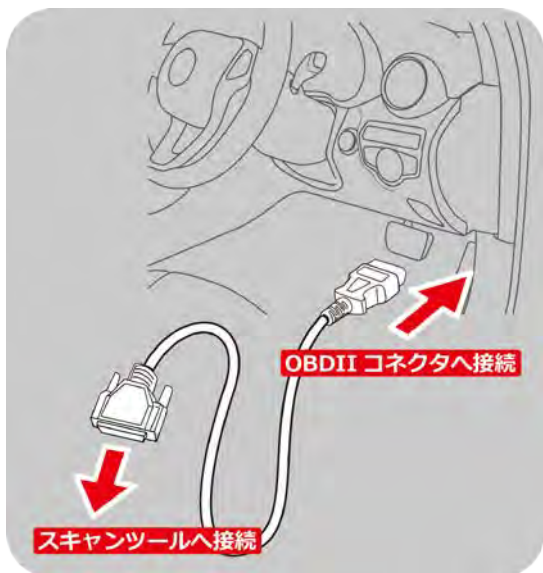


2 スキャンツールを車両に接続

1. イグニッションスイッチが OFF であることを確認します。



2. スキャンツールを車両に接続します。



3. イグニッションスイッチを ON にします。



4. スキャンツールが起動してメインメニューが表示され、Bluetooth アダプタの LED が点滅するまで待機します。



- ※アプリへの切替えはメインメニュー画面で行います。
メインメニュー画面のままスキャンツールは操作しないでください。

4. アプリの基本設定

1 アプリの起動

1. アプリを起動します。



2. 起動すると最初にアクセス許可を求められますので全て「許可」してください。



3. アプリが起動します。



2 アプリの設定

1. アプリをご使用になる前に設定を行います。「設定」をタップします。



2. 次項を参考に各項目を設定します。

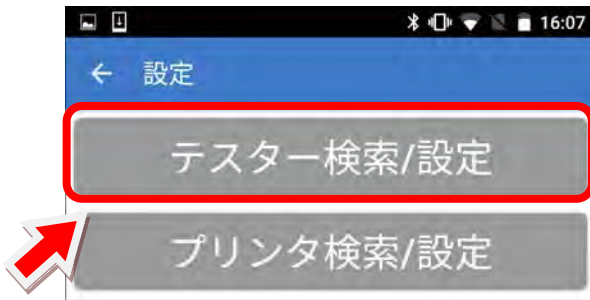


※以下の項目はデータ保存には関係ありませんので設定する必要はございません。

「プリンタ検索/設定」
「データ出力形式設定」
「フォーカス時間設定」


3 テスター検索/設定

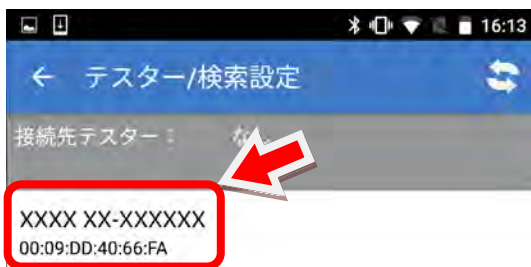
1. 「テスター検索/設定」をタップします。



2. 検索が開始されます。

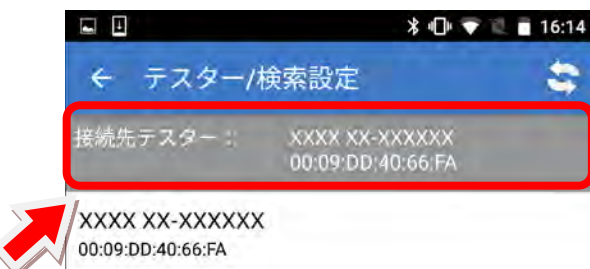
検索されたシリアル番号とスキャンツール本体のシリアル番号が一致していることを確認してシリアル番号欄をタップします。

スキャンツールが検索されない場合は  ボタンをタップして再検索してください。



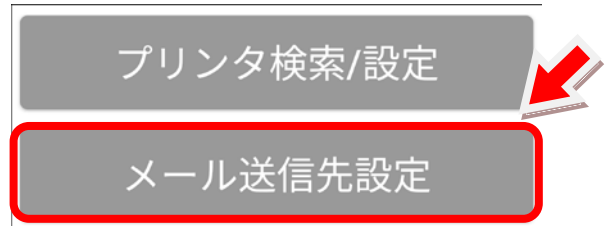
3. 設定が完了すると「接続先テスター」欄に選択したスキャンツールのシリアル番号が表示されます。

以上でテスターの設定は完了です。

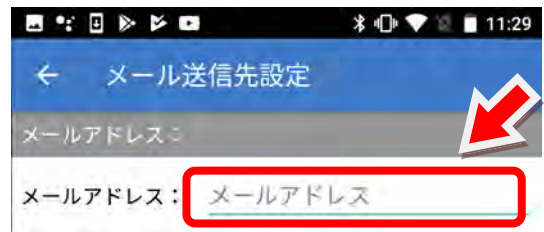


4 メール送信先設定

1. 「メール送信先設定」をタップします。



2. メールアドレス入力欄をタップします。

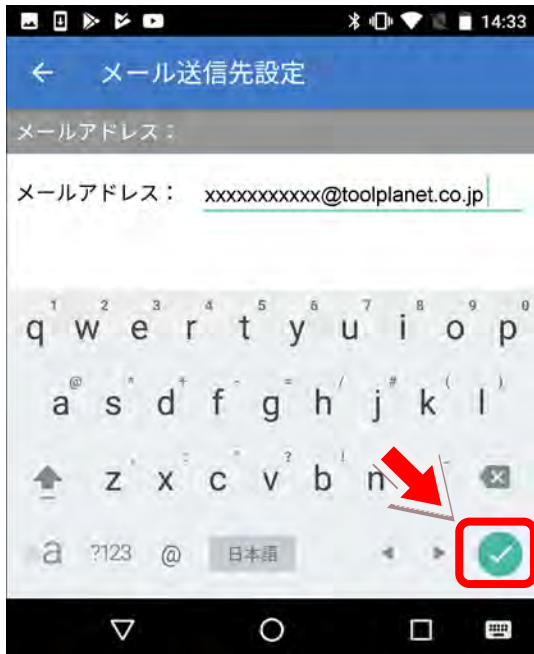


3. 送信先メールアドレスを入力しエンターキーをタップします。



4.

確定キーをタップします。

**5.**

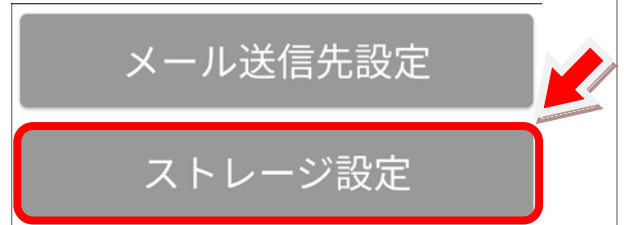
「メールアドレス」欄に入力したメールアドレスが表示されます。

以上でメール送信先の設定は完了です。

**5****ストレージ設定****1.**

「ストレージ設定」からデータの保存先を設定します。

※保存先を設定しないとメールでデータを送信することができません。

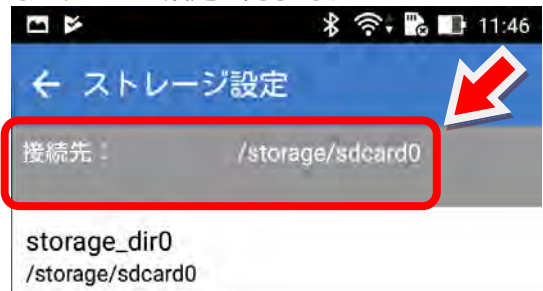
**2.**

任意の保存先をタップします。

**3.**

保存先（接続先）が設定されました。

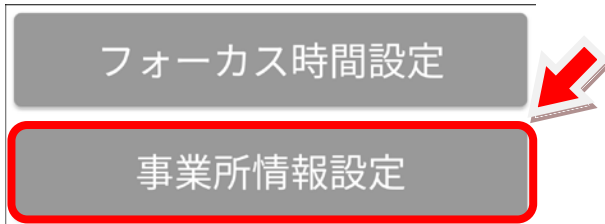
以上でストレージ設定は完了です。



6 事業所情報設定

1.

「事業所情報設定」をタップします。



2.

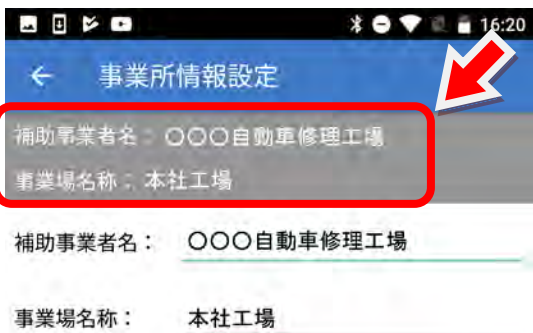
「補助事業者名」「事業場名称」欄をタップして入力します。

入力が完了しましたら確定キーをタップします。



3.

「補助事業者名」「事業場名称」欄に表示されます。



5. アプリの操作

「Inspection_2017」の対象車両は次の通りです。

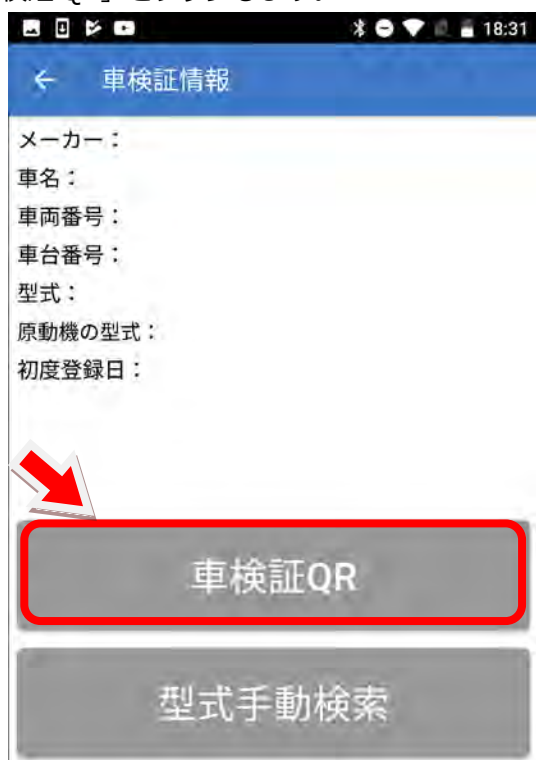
- ・国産車 8 メーカー
トヨタ、日産、ホンダ、マツダ、スバル、三菱、ダイハツ、スズキ
- ・初年度登録が **2009年1月（平成21年1月）以降の新型車両**

1 診断

1. メイン画面から「診断」をタップします。



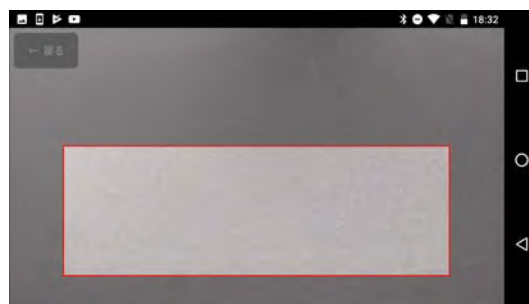
2. 車検証情報画面が表示されます。「車検証 QR」をタップします。



※車検証がない場合は「型式手動検索」から車両を特定します。

全メーカー から車種を選択、または から車種名を入力して検索します。

3. QRコードの読み取り画面が表示されます。



4. 車検証のQRコードを読み取ります。

<普通自動車車検証> 赤枠内 3+2 個の計 5 個
<軽自動車車検証> 赤枠内 2 個



<普通自動車> 計 5 個



<軽自動車> 左側 2 個

5. QRコードの読み取りが完了すると自動的に「車検証情報」画面に切り替わり、車検証情報が表示されます

車検証情報が車検証と一致しているか確認してください。



6.

確認後「次へ」をタップします。



7.

エンジンチェックランプの点灯状態を確認します。状況に応じてどちらかを選択してください。



8.

「レディネステスト」を開始します。スキャンツール側は「REMOTE CONTROL ACTIVE」が画面に表示されます。



※OBD2 規格に対応していない車両の場合はエラーが表示されます。

9.

レディネステストが終了すると自動でメーカーソフトが起動して「QuickScan」が開始されます。



※メーカーにより車名選択などの選択画面が表示される場合は該当する車両を選択してください。

10.

診断が完了すると診断結果が表示されます。



2 診断結果画面説明

各項目をタップすると詳細画面が表示されます。



1. レディネステスト

排ガス関連の制御が正しく許容範囲内の状態にあるかを確認する OBD2 のテストです。

タップするとテスト結果画面が表示されます。

-  : テスト完了
-  : テスト未完了
-  : 未対応

※MIL⇒ エンジン警告灯



※ペンディングコード⇒ 異常は検出したが故障の確定には至っていないコードです。

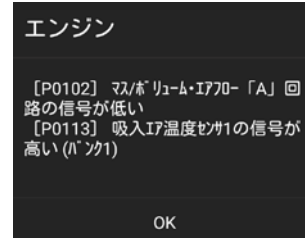



2. システム診断結果

エンジン、HV、AT/CVT、ABS/ESP、パワステ、エアバッグの6項目について故障コードの有無をチェックしてアイコンで表示されます。

※未搭載システムについては表示されません。

-  : 故障コードはありません。
-  : 故障コードがあります。(タップで詳細表示)



-  : フリーズフレームデータがあります。(タップで詳細表示)



3. チェック項目

走行距離の入力ができます。項目欄をタップします。



入力画面が表示されますので入力後「OK」をタップします。



3 診断データをメールで送信

1.

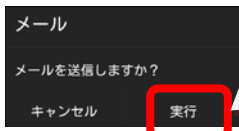
診断結果のデータをメールに添付して指定のアドレスに送信できます。(7ページ メール送信先設定参照)

メールボタン () をタップします。



2.

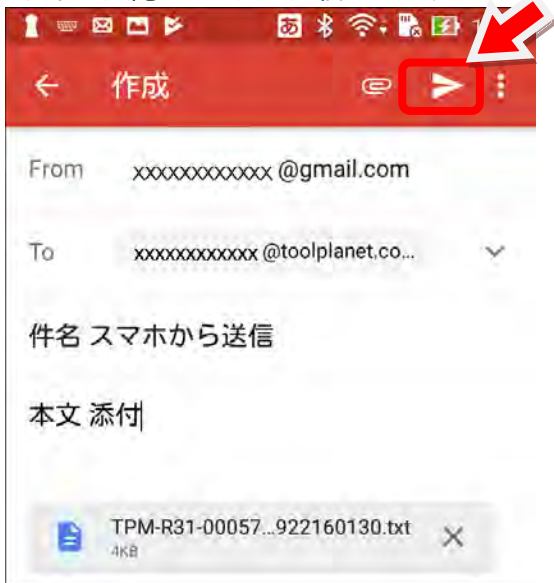
「実行」をタップします。



3.

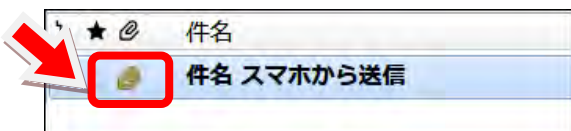
テキスト形式で保存されたデータが添付された状態でメールアプリが起動します。

「送信」ボタンをタップすると送信先に設定したメールアドレス宛にメールが送信されます。



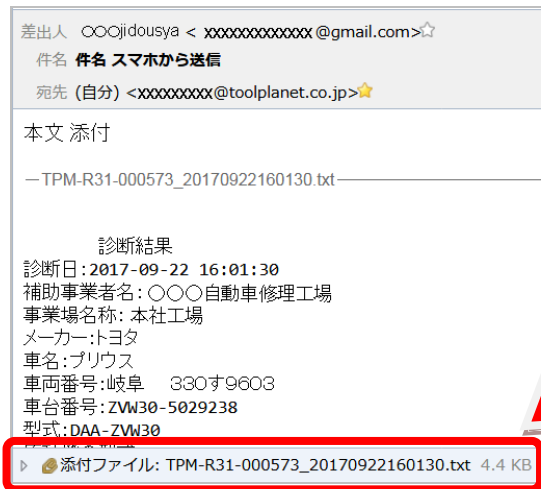
4.

メールソフトで受信するとファイルが添付されています。



5.

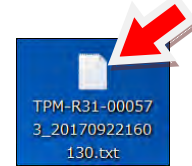
添付ファイルを任意の場所に保存してください。



※添付ファイルの保存方法はメールソフトにより異なります。ご使用のメールソフトの説明書を参考に保存してください。

6.

保存したファイルをダブルクリックで開いて確認してください。



6. 診断履歴

1 診断履歴の検索

1. メイン画面の「診断履歴」をタップします。



2. 「開始日」「終了日」を指定して検索できます。

指定せず「検索」すると全データが表示されます。



3. 「開始日」「終了日」をタップすると「日付選択」画面が表示されます。

+ - ボタンを使用して日付を設定して「OK」をタップします。



4. 検索条件が決定したら「検索」をタップします。



5. 検索条件に該当した履歴（日付）が表示されます。表示したい履歴をタップします。



6. 表示したい車両をタップします。



7. 診断結果履歴が表示されます。

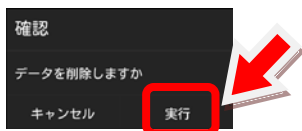


2 診断履歴の消去

1. 診断結果画面から  ボタンをタップします。



2. 確認画面が表示されます。
データを削除するには「実行」をタップします。



3. 履歴の削除が完了しました。




7. 終了手順

1 アプリの終了

1. メニューボタン () をタップします。



2. xボタン () をタップ、または画面を左右にフリックします。
アプリを終了するとホーム画面に戻ります。



2 スキャンツールを取外します

1. スキャンツールの「EXIT」ボタンを押してメインメニュー画面に戻します。

2. イグニッションスイッチを OFF にして車両からスキャンツールを取外します。